

宮代町長 新 井 康 之 様

宮代町監査委員 新 祖 章

宮代町監査委員 川 野 武 志

財政援助団体監査報告書

I 監査の概要

1 監査の対象

(1) 監査の対象団体

公益社団法人宮代町シルバー人材センター（以下「宮代町シルバー人材センター」という。）

(2) 所管課

健康介護課

2 監査の実施日 令和6年3月27日（水）

監査の実施場所 宮代町シルバー人材センター

3 監査の目的

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づき、宮代町が補助金等を交付する団体に対し、その補助金等に係る事業が、その目的に沿って適切に行われているかについて検証するとともに、団体を所管する課の指導状況について監査をしました。

4 監査の範囲

令和4年度に交付された宮代町シルバー人材センター補助金に係るもの

5 実施した監査手続

宮代町シルバー人材センター補助金に係る出納その他の事務の執行について、健康介護課及び宮代町シルバー人材センターからあらかじめ提出された資料及び追加要求をした資料に基づいて、関係職員から説明を聴取し、質問その他必要と認めた監査手続を実施しました。

II 監査対象団体の概要

1 事業の概要

シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、国・県・所轄自治体から助成・支援を受けて運営する公共的な非営利団体です。原則として市区町村単位に置かれており、それぞれが独立した運営をしています（都道府県知事の指定を受けた社団法人）。

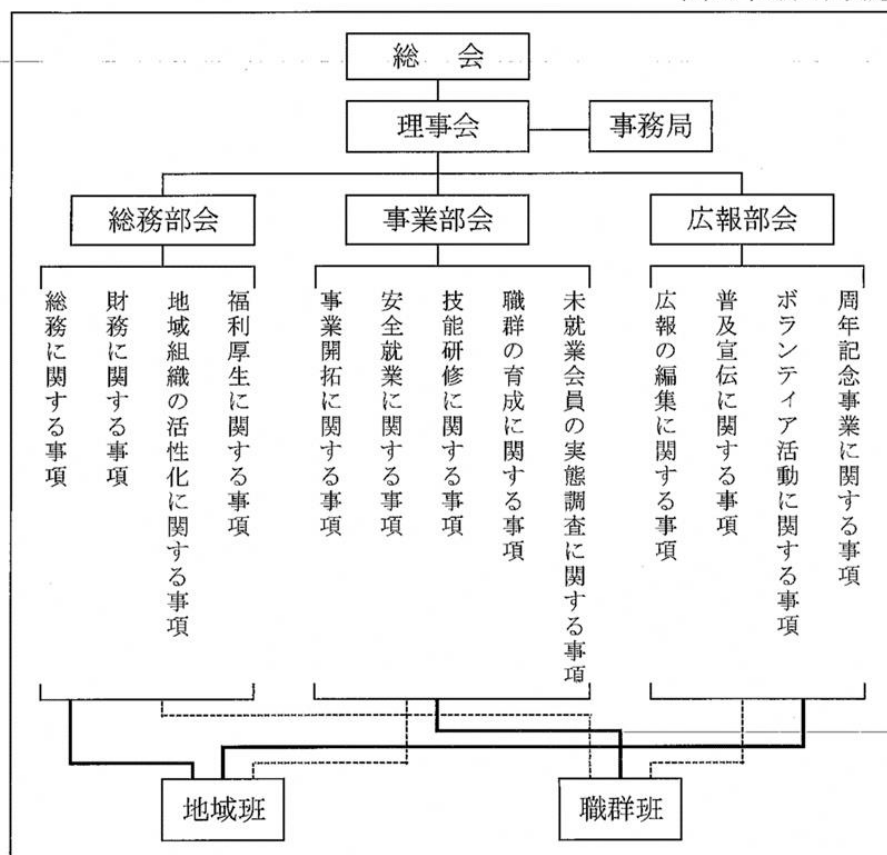
シルバー人材センターは、地域の家庭や企業、公共団体などから請負又は委任契約により仕事（受託事業）を受注し、会員として登録した高年齢者の中から適任者を選んでその仕事を遂行します。ボランティア活動をはじめとする様々な社会参加を通じて、高年齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上に貢献しています。

2 組織

(1) 組織図

公益社団法人宮代町シルバー人材センター組織図

令和5年4月1日実施



※ 安全適正就業委員会は事業部会に所管する。

※ 編集委員会は広報部会に含まれる。

※ 理事及び監事候補者選考委員会、その他の事項は総務部会に含まれる。

(2) 年齢別会員数 ※令和5年6月定時総会資料 抜粋

(単位：人)

宮代町		2022年度1月				
	男	比率	女	比率	計	比率
80歳以上	34	26.4%	10	19.6%	44	24.5%
75歳～79歳	38	29.5%	19	37.3%	57	31.7%
70歳～74歳	38	29.5%	13	25.5%	51	28.3%
65歳～69歳	18	14.0%	7	13.7%	25	13.9%
60歳～64歳	1	0.8%	2	3.9%	3	1.7%
60未満		0.0%		0.0%	0	0.0%
	129	100.0%	51	100.0%	181	100.0%
80歳代	34	26.4%	10	19.6%	44	24.3%
70歳代	76	58.9%	32	62.7%	108	59.7%
60歳代	19	14.7%	9	17.6%	28	15.5%
男女比	71.3%		28.2%			

3 補助金の使途状況

(単位：千円)

令和4年度 公益社団法人宮代町シルバー人材センター補助金使用報告書

令和4年度補助金額 6,500,000円

使用内訳	金額	内容
職員基本給	2,397,000円	正職員
職員期末手当	835,550円	事務局長・常勤職員・非常勤職員
法定福利費	1,368,120円	事務局長・常勤職員・非常勤職員
非常勤職員賃金	6,808,063円	5名分
小計	11,408,733円	
光熱水料費	82,080円	電気料
賃借料	2,225,447円	軽車両5台・業務・経理システム等
小計	2,307,527円	
合計	13,716,260円	
差引額	△7,216,260円	

※使用内訳について、連合からの補助金を含む。

Ⅲ 監査の結果等

監査の結果、令和4年度の宮代町シルバー人材センター補助金については、諸規定に基づき、補助金の交付目的に従って、所管課において交付され、宮代町シルバー人材センターにおいて執行されたものと認めます。しかしながら、宮代町シルバー人材センター補助金交付規程第4条第1項に定める交付申請書の様式に掲げる事項及び同条第3項に定める添付書類の内容と、宮代町補助金等の交付手続等に関する規則第4条第1項に定める事項及び同条第2項に定める添付書類の内容とが整合していませんでした。これについては、宮代町シルバー人材センター補助金交付規程の改正等今後の改善が必要と認められます。

Ⅳ その他

宮代町シルバー人材センターの令和4年度の事業内容については、年度はじめからの事務局長不在、途中交代という事態や新型コロナウイルス感染症の影響など厳しい状況の中で、会員交流等の事業が一部中止となったものの、請負事業等仕事作りの面では、前年度に比べて若干の減にとどまりました。

シルバー人材センターは、健康で生きがいのある生活の実現をめざし、高齢者に就業機会を提供するとともに、ボランティア活動などの社会参加を通じて地域福祉の向上に貢献しており、地域において重要な役割を果たしてきているものと認めます。少子高齢化の進展により、定年延長など雇用環境が大きく変化する中ではありますが、今後とも、女性会員の拡大や行政関連の事業拡大等に取り組みつつ、地域社会の活性化の一翼を担ってくださるよう期待いたします。

以 上